

市民が参加 交流深める ミリアン 密陽アランマラソン大会

■問い合わせ…市民参画課 TEL 23-3067



—密陽市—
韓国の南東部、釜山広域市の北部に位置する人口10万9千人の田園都市です。



姉妹都市である韓国・密陽市から招待を受け、2月28日（日）に開催された第13回大会に安来から7名のランナーが参加しました。参加したランナーは、発着点となった密陽公設運動場から、8965人の参加者とともに密陽市内を疾走しました。また、密陽市では手厚い歓迎を受け、市民らと交流なども行いました。

安来市体育協会 岡屋 榮六さん



安来市体育協会からは5名が参加しました。それぞれが完走し、大会の意義を果たせたと思います。密陽市内の河川敷約5kmのウォーキングロード内に簡単な健

康器具が設置してあり、今後、安来市でも参考にできると思いました。

しかし、なかうみマラソン大会の参考となる見学や視察の時間が足りなかったことが、とても残念です。



▲河川敷の健康器具

安来市体育協会 足立 里江さん



練習をほとんどしていない状態で不安でしたが、会場の雰囲気の影響されたせいか、トラック1周のアップで体が軽く感じられる不思議な感覚でスタートしました。

10 kmを1時間で走るバルーン隊（ペースメーカー）に追い越されてからは、見失わないように頑張って走りました。おかげで57分52秒でゴールすることができました。バルーン隊をなかうみマラソンにぜひ取り入れて欲しいです。



▲バルーン隊

安来市体育協会 宮本 功二さん



会場の広さや設備の良さにビックリしました。出発時には煙火と風船が空高く昇り、大会を盛り上げていました。沿道では、民族衣装をまとったボランティアによる打楽器演奏や一般市民の熱烈な声援のおかげで、完走することができました。

この体験を今後のスポーツ推進委員会や地区などを通じて、安来市の発展につながるようがんばります。

この体験を今後のスポーツ推進委員会や地区などを通じて、安来市の発展につながるようがんばります。

安来市体育協会 大櫃 静雄さん



私は10 kmコースに参加しましたが、7 km付近の給水場に、マッコリのお酒が置いてあり、韓国ならではの文化に驚きました。また、着ていた日本語の服のせいか『日本の方ですか？』と声をかけられ、密陽市の方の気さくさを感じました。

今後は、韓国での経験と交流を生かし、スポーツ推進委員や島根県山岳連盟の競技委員として、お互いのスポーツの幅を広げられる環境づくりを目指したいです。

安来市体育協会 原 映子さん



韓国について知っているつもりでも、実際に密陽市を訪問してみると『日本では当たり前前のことが韓国では違うこと』に気付かされました。私は、ビーチボールバレーという生涯スポーツを紹介したかったのですが、相手に伝えたいことが言葉にできませんでした。

機会があればぜひ、再チャレンジしたいです。今後、マラソン競技だけでなく、様々なスポーツでの交流が広がって欲しいです。

